

フウロソウ科 フウロソウ属

アメリカフウロ (アメリカ風露)

Geranium carolinianum L.

自生環境

道ばた、畑地、荒地 など

原産地

北アメリカ

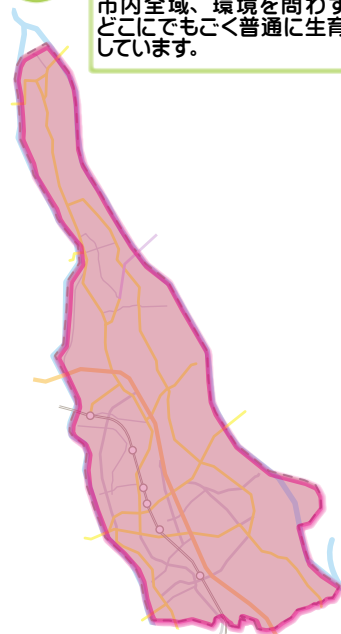
予想される被害



繁殖力、環境適応力ともにとっても強く、いたるところで繁茂しています。そのため、他の植物の生育空間を奪ってしまいます。また、畑地に侵入して農業に影響を与えることもあります。

市内の分布状況

市内全域、環境を問わずどこにでもごく普通に生育しています。



特徴

- ☆ 名前のとおり北アメリカ原産の外来種で、国内では 1932 年に京都で発見されて以来全国に広がり、今では農地や幹線道路沿いを中心にどこでも見られる身近な野草となっています。
- ☆ 草丈は数十 cm ほどですが、茎はよく枝分かれをしながら横にも張りだしていき、しばしば大株になります。花は直径 5mm 程度で淡いピンク色。花びらは 5 枚です。春から秋にかけてダラダラと開花する傾向が強く、市街地では真冬でも花を咲かせていることがあります。
- ☆ 在来種のゲンショウコと同じ仲間で、花のない時期の雰囲気はよく似ていますが、アメリカフウロの葉はより細かく切れ込む傾向があります。また、アメリカフウロの葉はしばしば赤く縁取りが入り、ゲンショウコのような黒い斑点はありません。

ハンマー投げのように

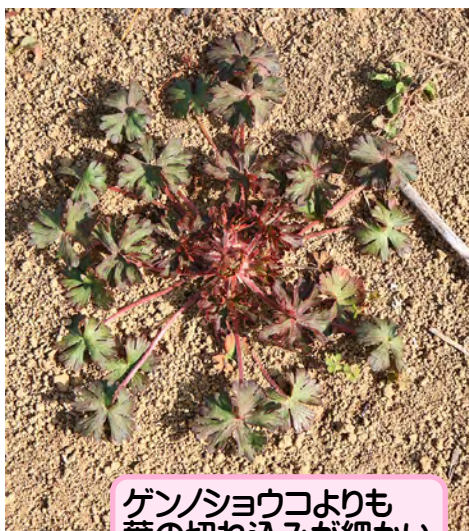
アメリカフウロの果実は、ツンととがったツノのようなかたちです。タネは、このツノの根元の部分にある膨らみの中に、1個ずつ入っています。成熟して真っ黒に色づく、角の部分が下からまくれ上がり、ハンマー投げのような要領でタネを遠くまで飛ばそうとします。同じ仲間のゲンショウコも同様の方法でタネを飛ばし、その姿が神輿のように見えるためミコシグサの異名を持っています。

どんどん枝分かれしながら横に大きく広がっていく



花びらは5枚でうすいピンク

ゲンショウコよりも葉の切れ込みが細かい



葉の縁が赤く色づくことも多い



果実は上向きのツノのよう



タネは根元のふくらんだ部分に入っている



熟すとめくれあがりその勢いでタネを飛ばす

わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

